

環境保全型農業直接支払制度 の実施状況等について

令和4年5月20日

1. 取組状況

(1) 取組件数の推移

○R2年度の減は、緑肥の単価減(8,000円→6,000円/10aによるもの)

(単位:件)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		R3(見込)	
								取組件数	取組農業者数(名)	取組件数	取組農業者数(名)
富山県	135	188	80	68	65	68	65	60	168	56	153
北陸	2,372	2,400	530	540	542	489	432	385		集計中	
全国	15,240	15,920	4,081	3,740	3,822	3,609	3,479	3,155		集計中	

(2) 取組面積の推移【全体】

○H30年度より複数取組への支援廃止。

(単位:ha)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(見込)
富山県	428	593	644 (666)	716 (743)	691 (753)	700	703	638	647
北陸	6,867	7,260	8,510	9,773	10,123	8,295	7,693	7,991	集計中
全国	51,114	57,744	74,180	84,566	89,082	79,465	79,839	80,789	集計中

※1 「複数取組」…同一ほ場において1年間に複数回の対象活動を行う取組。H27～29年度まで支援。

例…同一ほ場において、有機農業の取組後に冬期湛水を実施 等

※2 ()内は複数取組の延べ面積(=交付対象面積)

(3) 取組面積の推移【対象活動別】

(単位:ha)

年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (見込)
全国 共通取組	①カバークロープの 付け	221	238	230	293	271	275	263	175	159
	②堆肥の施用	28	168	207	227	239	212	209	219	196
	③有機農業	133	144	143	144	146	137	147	133	145
	④長期中干し								22	28
	⑤秋耕								1	10
本県 における 地域特認取組	⑥冬期湛水管理 ※1	46	44	75	71	91	70	80	71	77
	⑦IPM+畦畔除草 +秋耕 ※2			12	8	5	5	5	17	32
	⑧ビオトープの設置 ※2			—	0.28	2	0	0	0	0

※1 H23～24年度は全国共通取組、H25年度からは地域特認取組。

※2 H27年度からの地域特認取組。



○カバークロープの鋤き込み



○堆肥の散布

作物別区分	R2	R3(見込)
○水稲	499ha	→ 511ha
○麦・豆類	25ha	→ 17ha
○いも・野菜	9ha	→ 9ha
○花き・その他	105ha	→ 110ha

2. 令和4年度の取組

令和4年度は、全国共通取組の長期中干しや秋耕を効果的に活用するとともに、「みどりの食料システム戦略」に基づき、対象経営体及び面積の拡大を図る。

○取組面積の拡大

- ・有機農業については、R4年度から拡充された「取組拡大加算」を農業者へ周知し、新たな取り組みを支援するとともに、既存の農業者に対しても面積拡大、維持を図る。
- ・5割低減を行う農業者に対し、令和2年度より全国共通取組に追加された「長期中干し・秋耕」での取組実施の推進を行う。

○推進活動の実施

- ・R4年度から「国際水準GAPの取組」が「みどりチェックシート」へ変更されたため、各関係機関と連携し、内容の周知徹底に努める。
- ・各支援対象取組や推進活動等の事業要件について改めて周知し、事業要件の周知徹底を図る。